

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (03-03)

団体名	(特非) コミュニティ事業支援ネット	代表者名	理事長 東 朋子
事業名	シニア層や大学生が活躍する場を創出するための基礎調査		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
11月 7日 ~28日	オンライン	1~3 (1)	* アンケート作成のための事前調査 大学生の現状を調べるために、大学生の課外活動団体の集まりでヒアリングを行った
12月 5日 ~23日	事務所	(1)	* アンケート設計 大学生の現状を踏まえ、大学生のスキルや特技を聞くアンケート項目を作成した
1月 4日 ~22日	—	(1)	* アンケート依頼 (大学生) 大学生のスキルや特技を聞くアンケートをWEB形式で実施した (併せて、回答者を得るために大学生に協力依頼を行った)
2月 1日 ~10日	事務所	(1)	* アンケート集計・まとめ アンケート調査結果を集計した
2月14日	神戸クリスタルタワー	(1)	* 事業報告会・準備 事業報告会に出席した
2月15日 ~21日	事務所	(1)	* 追加調査 (ヒアリング等) 「NPO等の市民活動にスキルや特技を生かして協力したい」と回答した20人の学生の追跡調査 (フォローアップ) を、電話やメールで行った
2月22日 ~28日	事務所	(1)	* 事業に係る経理報告事務 事業報告書を作成した

<効果と成果>

<p>補助額減額に伴い、実施対象を大学生に絞って事業を実施した。</p> <p>大学生のスキルや特技を約100人に調査したところ、当初想定していた通り、ITスキルが極めて高い結果を得られた。(Microsoft Word/Excel/PowerPointの一般的なオフィスソフト操作ができる: 85%以上、スマホを使った動画撮影ができる: 94.1%、オンラインツールの使い方を教えられる: 89.1%、Twitterの使い方を教えられる: 77.2%、Instagramの使い方を教えられる: 90.1%) また、自身のスキルや特技を市民活動団体等に役立てたいかという問いに、86.1%が前向きに考えている結果を得られ、実際に登録してやってみたいという大学生が20人(約20%)いた。以上のことから、自身のスキルや特技を市民活動団体等に役立てることを肯定的に考える大学生は一定割合おり、機会の提供や組めるためのサポートが重要であることがわかった。</p> <p>現在、6人の大学生がスキルや特技を生かして活動をスタートする準備を進めており、今後さらにフォローアップしていく予定である。</p>

<今後の展望>

先述した通り、現在、6人の大学生がスキルや特技を生かして活動をスタートする準備を進めており、今後さらにフォローアップしていく予定である。

具体的には、当法人が実施する「大学生のスキルや特技を有償で提供する“学生クリエイター”」や「大学生ボランティアを市民活動団体につなぐ“学生ボランティア交流事業”」といった仕組みに、アンケートで前向きな回答をした大学生をつなぎ、大学生のスキルや特技を、市民活動団体に還元していく予定である。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	350,000
自己資金	502
合計	350,502

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	257,616	257,616
	小 計	257,616	257,616
	間接経費 (一般管理費)	92,886	92,384
	合 計	350,502	350,000